

入学試験における出題意図について（2026年度純真学園大学大学院 保健医療学研究科 看護学専攻 診療看護師（NP）コース）

■小論文

本学大学院のアドミッション・ポリシーでは、建学の精神である「気品」「知性」「奉仕」に則り、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育み、保健・医療・福祉の分野において社会の要請に応え得る高度専門職業人の養成を目指している。とりわけ診療看護師（NP）コースでは、「看護師としての経験を基に新たな問題に対して積極的に取り組もうとする人」「チーム医療の要としての自覚と責任を有し、より良い医療を実現しようとする意欲に溢れた人」「地域における様々な医療に貢献するという視点で物事を考え行動しようとする人」を受け入れ方針として掲げている。小論文は、これらの資質を、論理的な思考力・表現力とあわせて総合的に評価することを意図して出題した。

設問では、二〇四〇年に予測される人口の大幅な減少と、医療従事者や財政資源の不足の深刻化という社会的な課題を提示し、国民が安心して医療を受けられる体制を維持するために必要な取組みについて、自分の考えを八〇〇字程度で論述させた。地域で生活する人々の保健・医療・福祉をめぐる現状や諸問題を深く理解し、多職種連携や医療提供体制、医療政策の視点を踏まえて、課題の解決に向けた具体的な方策を構想できるかを問うものである。これは、高度専門職業人として総合的な判断力・調整力を発揮し、地域医療に貢献しようとする姿勢を評価するという、本コースの育成目標に沿った出題である。

評価にあたっては、設問の趣旨を的確に読み取ったうえで、自らの主張を明確にし、根拠を挙げながら論理的・客観的に一貫した論述を展開できているかを重視した。あわせて、看護師としての実践経験を踏まえた問題意識や、チーム医療の要としての当事者意識が示されているか、また序論・本論・結論の構成、専門的知識の活用、規定の字数、日本語表現の正確さといった点についても評価の対象とした。

なお、試験時間は一二〇分とし、社会的課題の分析、構想及び記述に十分取り組める時間を確保した。